

1. 地域情報

圏域	(主な町名) あすと長町 3 丁目～4 丁目 (1～2 番地を除く) 諏訪町、郡山 1 丁目の一部 郡山 2 丁目、郡山 3 丁目の一部、郡山 5 丁目～8 丁目、東大野田、 東郡山 1 丁目～2 丁目、郡山				
	(連合町内会) 郡山地区連合町内会全域 (学区) 郡山小、郡山中、東長町小 (地域包括支援センター) 郡山地域包括支援センター				
人口※1	19,736 人	高齢者数 ※1	3,824 人	高齢化率※1	19.38%
世帯数※1	8,887 世帯	未就学児数※1	1,401 人		
地区の概況	太白区の東部に位置し、広瀬川や名取川及び J R に囲まれた当地区は交通の要所でもあり、新たな住宅や市営住宅、マンションが多く、仙台市の副都心として開発が進められている地域である。東日本大震災により復興公営住宅が建設され、約 200 世帯の被災者の方が入居している。				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	郡山地区連合町内会 (飯田友愛会、エミナンスリバーステージ仙台南町内会、北目町内会、郡山籠ノ瀬町内会、郡山公務員住宅町内会、郡山在家町内会、郡山市営住宅町内会、郡山南町内会、郡山矢口町内会、郡山矢来町内会、諏訪町内会、長町アークス町内会、西台畑町内会、東大野田町内会、東郡山新々田町内会、あすと長町三丁目町内会、あすと長町市営住宅ひまわり会)			
	地域活動団体 (町内会除く)	郡山地区共同募金会、郡山赤十字奉仕団、太白消防団郡山分団、 郡山地区民生委員児童委員協議会、 社会を明るくする運動郡山地区推進委員会			
	N P O ボランティア団体				
	高齢者関係施設等	郡山地域包括支援センター、郡山老人福祉センター、茶話本舗デ・イ・ビス仙台南 特別養護老人ホーム春の森から、グループホームあったかいごこおりやま			
	障がい者関係施設等	そよかぜ広場			
	子供関係施設等	郡山児童館、東長町児童館、 飯田保育所、あすと長町こぶたの城保育園			
	教育機関	すがわら幼稚園、郡山小学校、東長町小学校、郡山中学校			
	市民利用施設	郡山コミュニティ・センター、東郡山コミュニティ・センター			
	その他				

※1 令和4年4月1日現在の「仙台市町名別年齢(各歳)別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域(街区符号・住居番号)による累計ではありません。

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和 43 年 10 月 1 日			
社協会員数	3,835 名（普通会員数 3,835 名、特別賛助会員数 0 名）※令和 4 年度実績			
会 長	氏 名	庄子 誠喜	就任年月日	H25. 5. 18
	兼務の状況	あすと長町三丁目町内会長		
組織体制	（役員体制）会長 1 名、副会長 2 名、理事 6 名（内、庶務 1 名、会計 1 名）、監事 2 名 （活 動 者） 37 名 （活動者呼称）役員、福祉委員			
主な 活動拠点	有→	（名 称）		
	無→	（主な活動場所）郡山コミュニティ・センター		

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	各町内会に 1～3 名の福祉委員がおり、そのメンバーで福祉委員会を構成している。同地区社協エリアを 1 区、2 区、3 区、4 区の 4 つの連絡区分に分け、地区全域の高齢者が一同に会する昼食会や、主に町内単位に、安否確認活動や生活支援活動、サロンを実施している。		
会議・研修	地区社協役員会：月 1 回 福祉委員会：年 3 回 地区社協福祉委員・民生委員児童委員の合同研修（年 2 回）		
活動の概要 〔令和 4 年度実績〕	安否確認活動	生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯（実数） 201 世帯 （内訳） 一人暮らし高齢者世帯 189 世帯 日中独居高齢者世帯 11 世帯 高齢夫婦世帯 0 世帯 その他の高齢者がいる世帯 0 世帯 障がい者のいる世帯 0 世帯 子供のいる世帯 0 世帯 その他の世帯 1 世帯	実施対象世帯（実数）※2 30 世帯 （内訳） 一人暮らし高齢者世帯 25 世帯 日中独居高齢者世帯 5 世帯 高齢夫婦世帯 0 世帯 その他の高齢者がいる世帯 0 世帯 障がい者のいる世帯 0 世帯 子供のいる世帯 0 世帯 その他の世帯 0 世帯	実施回数 6 回 延べ参加数 169 人 （対象） ☒ 高齢者 ☐ 障害者 ☒ 子育て中の親（子） ☐ 子ども ☒ その他 ※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照
	実施回数（延べ） 3,493 回 主な支援内容 〔訪問、電話、外からの見守り、その他〕	実施回数（延べ） 364 回 主な支援内容 〔草取り、買い物、ゴミ出し、外出・通院の付き添い、外出・通院の送迎、簡単な用足し〕	

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（10月～3月）における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	福祉のひろば	発行頻度	年 1 回
	発行部数・配布方法等	6,000 部、全戸配布		
	その他の広報	サロンや食事会の案内 年 4 回発行 部数 800		

5. その他の活動

活動・取組みの概要	・平成 29 年度より、地域に住んでいる誰もが気軽に集える「オープンカフェ」の開催を進めている
-----------	---

6. 地区社協活動の特徴

民生委員児童委員合同の研修会や赤十字奉仕団と共催でふれあい昼食会を開催するなど、地区内の福祉団体と連携した取り組みを行っている。

また、ふれあい昼食会やサロンの案内を、対象者に配布するとともに安否確認も行っている。